

外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	近隣との日常的な挨拶のお付き合いから、地域を視野に入れた交流まで、きっかけと機会ある毎に「仲間入り」を考えた取り組みがある。子供会・子供会役員との交流は継続的に行い、共同で開催する行事も企画している。	○
重点項目	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	2ヶ月に一度の定期的な会議開催がある。地域住民との交流の場ともなり、認知症高齢者理解推進の取組みにもつなげている。しかし、残念なことに行政担当の出席は得られていない。	×
重点項目	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	市担当・地域包括支援センターとの交流はなく、区役所担当との連携になっている。	×
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	意思表出可能な利用者がほとんどで、自身の希望・要望・意見を職員に対して日常的に伝えることが可能になっている。職員は利用者の意見を受け止め、真摯に対応している。家族意見に関しては、機会ある毎にホームから聴き取りの働きかけを行っている。	○
重点項目	その他軽減措置要件	評価
	「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	×
総合評価		×

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当初から、ホームからのアプローチに対し、市担当・地域包括支援センター職員の理解が得られず、ここ最近では働きかけも行っていない現状が否めない。運営推進会議への市担当者・地域包括支援センター職員の出席、行政との連携に関しては、ホームからのさらなる働きかけが必須であることから、今後の取り組みが期待される。

1. 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。